

中毒学 I

Toxicology I

単位数：5単位

- 竹下 治男 教授：法医学
山崎 雅之 准教授：人間科学部(医学部兼務) 山田 法頭 准教授：救急医学
藤原 純子 学内講師：法医学 木村かおり 学内講師：法医学

1. 科目の授業方針

中毒学の講義・演習では、中毒学の一般原理の解説にはじまり、薬毒物、農薬、大気汚染物質等の環境に影響を及ぼす毒物をはじめ、化学兵器、生物兵器、動物毒、植物毒、食中毒、細菌毒および産業衛生学関連などの広範囲にわたる中毒について学ぶ。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 中毒をめぐる問題を法医学や救急医学の立場から理解し、中毒をめぐる社会的問題を理解し行動する。
- 2) 精神医学領域における薬物中毒(薬物依存)の病態について理解できる。
- 3) 産業衛生学の立場から、中毒をめぐる社会的問題を理解できる。
- 4) 救急医学的な急性中毒の診断と治療について理解し、実践できる。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 中毒の一般的知識や毒性発現機序を説明でき、中毒に関わる社会的問題に積極的に関わる態度を示し、社会的に行動することができる。
- 2) 薬物依存をきたす主な薬物の種類、症状、治療について説明でき、社会的問題として理解を深める。
- 3) 産業中毒の特徴を説明でき、産業医、衛生管理者等としての健康障害予防措置を提案できる。
- 4) 救急医学的な急性中毒をきたす主な薬物の種類、症状、治療について説明できる。

3. 教育の方法、進め方

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。講義は主として面接授業で行うが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、オンライン授業に変更する場合もある。オンライン授業の場合は、Teams等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対

し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

急性中毒標準診療ガイド（じほう）

中毒百科（南江堂）

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	法医中毒学 1-1	竹下 治男
2	法医中毒学 1-2	竹下 治男
3	法医中毒学 2	藤原 純子
4	産業中毒 1	山崎 雅之
5	産業中毒 2	山崎 雅之
6	法医中毒学 3	藤原 純子
7	急性中毒 1	竹下治男
8	法医中毒学 4	木村かおり
9	法医中毒学 5	木村かおり
10	法医中毒学 6	木村かおり
11	産業中毒 3	山崎 雅之
12	救急医学急性中毒 1	山田 法顕
13	救急医学急性中毒 2	山田 法顕
14	法医中毒学 7	竹下 治男
15	法医中毒学 8	藤原 純子